

ゆきしろみず

桜の並木道／砂子又(ひとみの里)

主な内容 P.1 ごあいさつ、表紙写真の紹介 P.2 地質調査、周辺整備作業
P.3 東通ヘッドオフィスの紹介 連載企画(その3) P.4 お知らせ
P.5 東通小学校「環境・エネルギー教室」、東通村を知りたい～地域貢献編～

QRコードを使って♪アンケートに応募しよう!

- ハガキ又はQRコードでお答えいただいた皆さまに粗品をプレゼントします。さらに、抽選で10名様に、今回取材した伊勢田さんオススメの「東通牛やわらか牛そぼろセット」をプレゼントします。
- QRコードを読みとることで、簡単にアンケートを回答できるようになっておりますので、ぜひご応募ください。



応募締め切り

2021年6月25日(金)

ごあいさつ

日頃より当社事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

一般の柏崎刈羽原子力発電所のIDカード不正使用や核物質防護設備の機能が一部喪失する事案の発生等により、地域の皆さまをはじめ、社会の皆さまに大変なご不安やご心配をおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。

さて、本年3月19日に東通村と当社は、一般社団法人東通みらい共創協議会を共同で設立しました。福島第一原子力発電所事故以降、東通原子力発電所の建設工事を中断し、今日に至っておりますが、今後、東通での原子力事業を早期かつ安定的に進めるためには、地域の一員として、安全・安心で暮らしやすい持続可能な地域作りに貢献するとともに、建設のために必要な基盤整備も進めていく必要があります。こうした観点で、東通村ご当局と検討を重ねました結果、本協議会の設立に至ったものです。東通村ご当局をはじめ、関係者の皆さまのご尽力に、心から感謝を申し上げます。

なお、建設見通しにつきましては、2020年度中にお示しすべく鋭意検討しておりましたが、見通しをお示しできるまでに至りませんでした。しかしながら、東通原子力発電所は、当社の電源構成上はもとより、脱炭素への対応や電力安定供給の観点からも重要な電源であることから、引き続き、建設に向けて地質調査、プラント設計や共同事業化の検討等を進め、早期に見通しをお示しするべく全力で取り組んでまいります。

原子力事業は、地域の皆さまの信頼なくしては成り立ちません。今後も皆さまのからのご意見・ご要望に真摯に向き合い、地域の一員として、これまで以上に皆さまの想いを受け止めて事業を進めてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



常務執行役 青森事業本部長

宗 一誠



東通原子力建設所長

太田 武

※一般社団法人東通みらい共創協議会設立については、4ページをご覧ください。



表紙写真の紹介



桜の並木道★

本号表紙写真のスポットを紹介します。

砂子又地区の田名部川沿い(ひとみの里)に、桜の並木道があります。この写真は、東通村役場近くの沢内橋より田名部川沿いへ少し歩いたところから撮影しました。

一面に咲く桜がとてもきれいでした。コロナ禍により、様々なことが自粛ムードですが、早く普通にお花見や散策ができるようになるといいですね。



(2020年4月撮影)

地質調査 ～2021年4月現在～

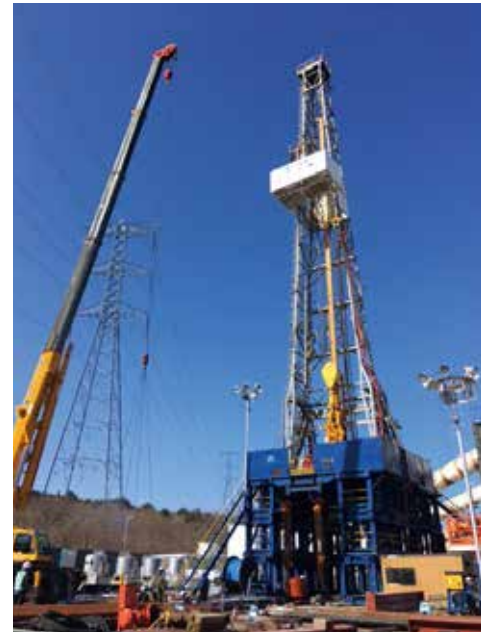
東通原子力発電所の早期の工事再開を目指して、地質調査を引き続き実施しています。



ボーリング調査(2021年4月)

●ボーリング(掘削)による地質・地質構造の調査

- 敷地の地質・地質構造を把握するため、敷地高台エリアを中心に地下のボーリング調査を継続して実施しています。
- これらの調査により、より安全性に優れたプラント設計を追求するとともに、敷地内における用地や設備の将来的な活用のあり方に必要な材料を収集していきます。



地震計設置工事(2021年3月)

●試掘坑による地質・地質構造の調査

- 2019年1月より立坑掘削、同年5月からは人が坑内に入って調査するための横坑掘削を実施しています。引き続き、地下の地質・地質構造の把握に取り組んでいきます。

●調査観測用「地震計」設置工事

- 地質調査は予定どおり進捗していますが、さらなる知見の拡充を図り、より安全性に優れたプラント設計を追求するため、敷地内地下に調査用地震計を設置し、地中深くの地震観測を行う予定です。
- 工事期間は、2021年2月～12月です。(うち3月～7月は24時間掘削作業)

(用語解説)・立坑(たてこう):垂直方向に掘られた地下の穴 ・横坑(よここう):水平方向に掘られた地下の穴

周辺整備作業 ～2021年度の概要～

周辺整備作業とは、品質・安全の観点を含め、工事途中である構築物の整備や敷地造成エリアなどの整備を行う作業のことです。

●発電所南側ヤードの盛土造成

- 建設するために必要な作業エリアを造成しています。造成にあたっては、敷地の中で発生した残土にセメントを混ぜることで、建設に必要な強度を確保しています。

●ボーリングコア収納倉庫の増築

- 採取したコアを収納するための倉庫を昨年度1棟増築しており、今年度はさらに1棟増築する予定です。

(用語解説)・ヤード:作業場 ・ボーリングコア:地下の地質や地質構造を調査するため、地中をボーリング(掘削)し、岩石を採取した長い円柱状の地質サンプル



東通原子力発電所サイト全体(2021年4月)

※特集「現場の仕事」については、制作の都合により一時掲載をお休みします

東通ヘッドオフィスの紹介

連載企画 **その3**

前号で紹介した「東通建設プロジェクト統括室」に引き続き、第3回目は「地域コミュニケーション室」です。地域コミュニケーション室は、立地統括グループ、立地地域グループ、広報グループで構成されております。今回は、山口室長に業務内容をインタビューしながら、立地地域グループで働く社員を紹介します。



山口室長インタビュー

- 出身 / 広島県福山市
自宅は千葉県野田市(家族:妻と長男・長女)
- 趣味 / 釣り(海・川)、山登り、スノーボード、ウォーキング(減量のために仕方なく…)

Q. 「地域コミュニケーション室」では、どのような仕事をしているのでしょうか？

東通村をはじめ周辺の自治体(役場)や地域の方々等に向けて、当社事業の状況や青森事業本部の取り組み等についてお知らせするとともに、さまざまなご意見等を伺い、事業運営に反映しています。

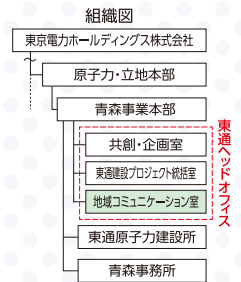
Q. 東通村に住んでみて思ったことは？

東通勤務は2度目で、いまは小田野沢寮に住み単身赴任しています。最初の勤務の時に下北で生まれた長男は昨年二十歳になりました。東通村は、自然が豊かで食べ物も美味しく、外に出歩くのが好きなので、休みの時は、いつも海や川、山に出歩いています。もし見かけたら、お声掛けください。

Q. これからの目標や展望はありますか？

なにより安全を最優先に、地域の方々からご理解をいただきながら、できるだけ早く発電所の建設を進め、当社事業を通じてより豊かな地域づくりに貢献していきたいと思えます。

※このコーナーは、2019年7月に新設した組織「3つの室」について、3回にわたり連載することとしておりましたが、企画を一部変更し次号(その4)で立地統括グループと広報グループを紹介する予定です。



地域コミュニケーション室



立地統括グループ

立地地域グループ

広報グループ

業務概要

地域の皆さまと一番身近なパイプ役として、定期的な訪問による情報発信やイベントへの参加等を通じて、皆さまからの声を当社事業に活かせるよう対話・理解活動を行っています。

意気込み

私たちは、地域の皆さまとの架け橋となり、地域の一員として、共に明るい未来を創造し続ける対話・理解活動を行っていききたいと思います。

<立地地域グループの皆さん>



業務打合せ



デスクワーク



訪問活動(2019年12月以前撮影)



地域イベント(2020年11月撮影)

今井メンバーより一言

立地地域グループの今井でございます。

この度、2021年3月末日を持ちまして定年を迎え退職することとなりました。在職中は、地域の皆さまにひとかたならぬご指導を賜り誠にありがとうございました。

地域の皆さまの温かさ、食べ物の美味しさ、また、自然の素晴らしさはしっかりと自分自身の胸に刻まれています。コロナが収束した際には、是非とも機会をつかって訪れたいと思います。



※撮影のため、一時的にマスクを外しております

- 2020年11月5日
福島第二原子力発電所の保安規定変更認可申請の補正書および東通原子力建設所の保安規定変更認可申請書の提出について
- 2021年2月5日
福島第二原子力発電所ならびに東通原子力建設所の保安規定変更認可申請の補正書の提出について
- 2021年2月26日
プルトニウム利用計画について
- 2021年3月18日
福島第二原子力発電所ならびに東通原子力建設所の保安規定変更認可について
- 2021年3月19日
一般社団法人東通みらい共創協議会設立のお知らせ
- 2021年3月30日
2021年度使用済燃料等の搬出・受入について



プレスリリース
詳細はこちら!


一般社団法人東通みらい共創協議会設立のお知らせ

東通村および当社は、2021年3月19日、一般社団法人東通みらい共創協議会を共同で設立し、公表しました。

当社は、これから長きに亘り東通において原子力事業を安定的に進めるためには、地域の一員として、安全・安心で暮らしやすい持続可能な地域作りにも貢献するとともに、建設のために必要な基盤整備も進めていく必要があると考えています。

本協議会では、長期的な時間軸の中で資金を拠出し、前述にある地域作りや基盤整備などにつながる事業に協力してまいります。

この取り組みが、真に東通村の持続的な発展と原子力事業の推進に資するものとなるよう、東通村とともに取り組んでまいります。



一般社団法人東通みらい共創協議会設立のお知らせ

2021年3月19日
東通村
東京電力ホールディングス株式会社
再森事業本部

東通村及び東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東京電力」という）は、地方創生の推進等に関する事業を行い、地域共創に寄与することを目的に、本日、一般社団法人東通みらい共創協議会（以下「本協議会」という）を共同で設立いたしました。

東通村と東京電力は、これまで安全・安心で暮らしやすい持続可能な地域作りや、これから長きにわたり、この東通での原子力事業の推進に必要な基盤整備を進めていくための具体的な取り組みについて、検討を重ねてまいりました。

このたび、こうした検討の結果として、本協議会の設立に至ったものです。

今後、東通村と東京電力は、本協議会を通じて、地域の発展と原子力事業の相互連携を目指し、ともに東通村の持続的で豊かなみらいを創ってまいります。

添付資料
・本協議会の概要
・共創策スキームのイメージ

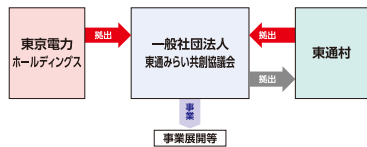
以上

添付資料

【本協議会の概要】

1. 名称
一般社団法人東通みらい共創協議会
2. 所在地
青森県下北郡東通村
3. 目的
東通村における地方創生の推進等に関する事業を行い、地域共創に寄与することを目的とする。
4. 事業内容
東通村の安心・安全な暮らし、教育・健康の発展、産業の発展等に資する事業、事業者が事業を行うために必要なインフラ整備に資する事業、その他目的を達成するために必要な事業への協力
5. 資金拠出
東通村と東京電力が長期的な時間軸の中で資金をともに拠出
6. 設立日
2021年3月19日
7. 設立者
東通村、東京電力ホールディングス株式会社
8. 役員
代表理事 宗 一誠（そう いっせい）
（東京電力ホールディングス株式会社 常務執行役員再森事業本部長）
理 事 東通村2名、東京電力1名、有識者1名
監 事 東京電力1名
9. 会員
設立時の会員は東通村・東京電力の2者

【共創策スキームのイメージ】



```

    graph TD
      TEPCO[東京電力ホールディングス] -- 拠出 --> JV[一般社団法人東通みらい共創協議会]
      Village[東通村] -- 拠出 --> JV
      JV -- 拠出 --> Business[事業展開等]
    
```

東通小学校「環境・エネルギー教室」を開催しました!

次世代を担う東通小学校のみなさんに、身近な暮らしの電気について楽しく学んでいただくことを目的に、2021年2月4日(木)4年生と5年生を対象とした「環境・エネルギー教室」を開催しました。

今後も、本活動を通じて、エネルギー全般への理解をより深めていただけるよう取り組んでまいります。

4年生

静電気で浮遊するクラゲや太陽電池・果物電池の実験等を通じて、電気のしくみを学びました!



5年生

ネコライトという手回し発電機を使った実験等を通じて、様々な発電方法を学びました!



※新型コロナウイルス感染防止対策をしたうえで実施しております

東通村を知りたい ～ 地域貢献編 ～

「あゆむ」人にクローズアップ!地域で頑張っている方を紹介します。

私の思い

“地元貢献したい”
“皆さまとの繋がりを大切に”
“身近な拠り所でありたい”

日本郵便株式会社
白糠郵便局長
伊勢田 聖 さん



地元が白糠である伊勢田さんは、関東圏よりUターンし、現在、白糠郵便局に勤務しています。“地元貢献したい”と熱く語っていただいた伊勢田さん。今回は、その経緯や思いを取材しました!

Q. 地元に戻ってきた経緯は?

A. 大学卒業後は関東で高校教員をしながら、県庁やNPOと連携し不登校や引きこもりの子供たちのカウンセリングや自立支援活動をしていました。2年前に日本郵便に入社し、出身地である白糠の郵便局に配属となりました。

Q. 局長の仕事は?

A. 白糠郵便局の統括をはじめ、他局や外部機関などとの調整も行なっています。その他地域の皆さまとの繋がりを深めたく、イベントなどにも積極的に参加するとともに、地元貢献したいとの思いがあり、日々業務に取り組んでいます。

Q. 郵便局はどんなところ?

A. 郵便局では『郵便・貯金・保険』を主要業務としていますが、郵便局ロビーにおいて有償で販売スペースの提供もしています。白糠郵便局では、これまでに地元の方やむつ市内にあるお菓子店と販売スペースの契約を結び、そこで販売される手作りの民芸品やお菓子などは、お客さまに大変好評いただき、それを目当てに立ち寄るお客さまもいらっしゃいました。

Q. 皆さまにひとこと!

A. 東通村には5つの郵便局があります。いずれも地域の皆さまのご支持のおかげで存続する事ができております。今後ともよろしくお願ひいたします。



郵便局窓口



地域のお土産物販スペース



地域の方の物販スペース

日本郵便株式会社 白糠郵便局

〒039-4299
青森県下北郡東通村大字白糠字浜通50
連絡先:0175-46-2215(平日午前9時~午後5時)



私たちへお気軽にお声掛けください!

編集後記

本号QRコードアンケートより写真が添付できるようになりました。東通村内の旬な風景やスポット等の情報をぜひお寄せください。(ナベ)

